

2024年9月

からし種

カトリック片瀬教会



休みから帰ってきて…

ブランチフィールド神父

8月29日、洗礼者ヨハネの殉教の祝い

私が休みから帰ってきて（7月18日）、暑い日が続いて、今日は台風10号が変わりをもたらすかもしれない。

帰ってから間もなく平和旬間（8月6日～15日）を迎えました。祈りのリレーと8月9日9時半のミサ後、顕示したご聖体の前に2時間の礼拝をもって、できるだけ共同体として平和旬間の精神に合わせました。

8月15日、マリア様の被昇天の祝いに夏祭りがありました。午後5時のミサの後で、80数名の方でパーティをしました。子どものための花火で終わりました。マリア様のご像のまわりに花を飾った方々をはじめ、大勢の方の協力のために感謝。

8月になってから、信徒会館に泊まり込みのグループが来ました。感謝の意味で庭掃除。マリア様のご像から門までのグループもあったし、2泊3日泊まった雪ノ下教会の青年グループは、会館のレールの掃除にかかった。私が朝見たら、笑顔で楽しそうに数人の若い男女が、一所懸命にサビを落とすにかかっていた。

翌々日であったか、見たら作業がすすんで、会館のレールはさわやかなブルーになっていた。3年前から私が見ていた見苦しいレールが上着を変えた。ありがたいなあと思った。

2024年9月度 教会委員会報告

開催日時：2024年8月18日(日) 11時30分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、財務、会計監査・宣教司牧代、典礼、(総務)、福祉、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、聖母訪問会

□ブランチ神父のお話し

15日のマリア様のお祝いはきれいにできましたと思います。平和の祭りもたくさん参加され良かったです。準備された方々には感謝します。9月から新しい勉強会を二つします。一つは、火曜日のマルコによる福音書を読む会、もう一つは土曜日の洗礼志願者の講座です。お年寄りで教会に来られなくてご聖体が欲しい方にはこちらの方から行きます。今二人の方にはしています。

□全体の報告および連絡事項

1. 8月15日(木)聖母被昇天ミサ及び平和の祭り

1) ミサは、熱中症アラート発令下、外気温35℃だったため、聖堂で行った。

参列者は約80名

2) ミサ後、マリア像の前でロザリオ一連を唱えた。マリア像には、ガーデニングサークルが花飾りをした。

3) 平和の祭りは、信徒会館1Fから前庭にかけてテーブルを置いて実施。

参加者は申込80名に対し、70名程であった。

4) 反省点として

①計画期間が短く、少人数での準備が大変だったので次回は計画の立て方を考えてほしい。

②猛暑が続く時期の野外活動計画は立てない方がよい。

2. 9月16日(月)敬老の日 昨年同様に

1) 敬老のお祝いとして、78歳以上にお祝いカードを配る。できるだけ手渡しとする。

2) 9月15日、22日のミサで「病者の塗油」を行う。

□各部会からの報告

1. 典礼部

9月8日は、司祭が中和田教会ミサ司式に行くため、集会祭儀となる。教会委員長が司祭を中和田教会へお連れする。

2. 宣教司牧部

今年の「ペットの祝福」は担当者がいないため中止とする。

3. 福祉部

夏の合宿は、雪ノ下教会中高生会も含め、6団体7回行われ無事終了した。団体の内、川崎マックが草取りをしてくれた。各団体から献金を頂いた。

4. 中高大青会

8月10～12日の雪ノ下教会の教会学校の合宿は、12名参加。片瀬の中高大青会との交流会を11日に行い、片瀬から7名参加。

5. 一粒会

11月23日(土・勤労感謝の日)日本カトリック神学院のザビエル祭が開かれる。掲示板にポスター、案内を掲示。多くの人が行って神学生のことを知ってほしい。

6. 市内キリスト教連絡会

8月3日、平和のための合同祈祷会を実施。市内のキリスト教の教会11教会より66名が参加。片瀬教会からは、8名参加。

□ 検討・決定事項

1. 今年末の教会委員改選については、

- 1) 前回提案した教会組織改編についての委員の意見を聞いた。結果として、早急な改編は良くないので、次年度の委員会組織は現状のままとし、組織改編検討会(仮称)を設置し検討していくことになった。
- 2) 次期委員選出方法については、次回委員会で決めることになった。

2. 今年の教会バザー

- 1) 昨年同様、フリーマーケット形式、コミュニティ主体に行う。
- 2) 日時：10月27日(日) 11時～14時
- 3) 当日ミサは、通常通り8時と10時に行う。
- 4) 実行委員は、藤江、池尾を中心にメンバー募集する。

「聖母の被昇天ミサ」と「平和の祭り」(懇親会)

8月15日(木)聖母の被昇天のミサが、暑さを考慮して聖堂にて行われました。約80名が、「マリアさまのこころ」の入祭唱と共に祈りに入りました。

神父さまからは、マリア様の祝日についてのお話がありました。一年を通して、1/1の「神の母聖マリア」に始まり、12/8の「無原罪の聖マリア」まで10回以上あり、また5月は「聖母マリアの月」となっています。今一度、マリア様の全生涯を観想してみると・・・

・神のみ使いから「あなたは神から恵みをいただいた。」と告げられると、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」と答えた若き日の聖マリア。

・ナザレでイエスを育て、やがてヨセフの仕事を手伝い30歳になられ公生活のためナザレを離れるイエスを気にかける聖マリア。

- ・ローマ帝国への反逆者としてイエスが処刑されることを知り苦悩する聖マリア。
- ・十字架上から「ご覧なさい。あなたの子です。」と全てをヨハネに託されたイエスの心を思う聖マリア。

そして被昇天の日、もう年老いたであろう聖マリアが、地上での生活を終えられ、神の力によって天国に上げられ、イエスと再会し、イエスにしっかり抱きしめられているお姿を思い描くことができます。その全生涯を無条件で神への愛と信頼で貫かれた聖母マリアを心に刻み、聖母マリアに倣った道を歩めるよう祈ったミサでした。

ミサ後、全員でマリア像前にてロザリオの祈りを一連捧げ、会場を前庭・信徒会館に移して「平和の祭り」(懇親会)となりました。



2024年度 平和のための合同祈禱会 ～ 平和について ～

辻垣 篤

8月3日(土)日本キリスト教団辻堂教会で同教会牧師の白鳥牧師司式で「平和のための合同祈禱会」が執り行われました。

池尾さんの事前の呼びかけもあり、片瀬教会からは8名(昨年3名)の参加があり、市内11のキリスト教教会より66名が集まりました。暑い中でしたが、片瀬教会からご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今回の合同祈禱会は、カトリック藤沢教会の河野敦神父によってお説教が行われました。その中で教皇ヨハネ・パウロ二世のお言葉(平和アピール)を引用されていたのが印象的でした。私は、「平和アピール」を今まで読んだことがなく、合同祈禱会の後に読みました。40年以上前のお言葉ですが、現在の世の中にも当てはまり、世界平和についてはこの頃から何も変わっていないことも実感いたしました。その中で特に私の心に留まったお言葉は、「神よ、わたしの声を聞いてください。わたしたちがいつも憎しみ

には愛、不正には正義への全き献身、貧困には自分を分かち合い、戦争には平和をもってこたえることができるよう、英知と勇気をお与えください。」という内容です。最後の『英知と勇気をお与えください』という言葉が好きです。平和を実現させるためには、様々なアイデンティティを持っている人々が知恵を持ち寄り深く真剣に考え、勇気を持って行動しなければ前に進まないのだと思います。

平和だけでなく、様々な社会課題、共同体の課題も同じで、無関心にならず、愛を持って、皆で知恵を持ち寄り行動することが大切なのだということを改めて考えさせられました。

皆様、来年は合同祈禱会に参加して、平和について考える時間を持ちませんか？

ご参加をお待ちしております。



サマーキャンプの思い出

K. M.

今年はコロナも終息されつつありサマーキャンプも2泊3日のスケジュールとなりました。去年に続き片瀬のリーダーとして参加させていただきました、急遽リーダーの欠員もあり片瀬からのリーダーは私1人となりましたが、宮國さんのアテンドもあり無事に教会学校の4人の仲間と山手にある聖光学院へ行きました。各教会のリーダーと久々に会えたり、お楽しみの企画では各班でゲームをしたり劇をやったり、夜は花火やバーベキューをして締めくくりには皆んなで作文を書きました。キャンプ中は班別行動となり片瀬の皆んなとは別行動でしたが3日間とても楽しく過ごすし夏のよい思い出となりました。



雪ノ下教会との交流会

—中高大青会—

S. M.

8月11日に私たち中高大青会は、雪ノ下教会の中高大青会の方たちと交流会を行いました。雪ノ下教会の方々は8月10日～12日の日程で片瀬教会に泊っておられました。10日には信徒会館2階の手すりのさび止めを塗って下さり、11日には一緒にペンキを塗って下さいました。

11日のミサでは、侍者が足りなかつたので手伝って下さったり、先ほども書いたとおり、2階の手すり修復を手伝って下さったり、雪ノ下の方々は自分の教会ではないのにいろいろとやってくださって、とても心優しいなと感じました。

ペンキ塗りが終わった後は“ポイフル”というテーマで勉強をしました。勉強をした後は夕飯にバーベキューを行いました。外は暑かつたけれども、とても美味しかったです。

バーベキューの後はみんなで片瀬海岸の花火を見に行きました。5分でしたがとてもきれいでした。教会に帰って手持ち花火と打ち上げ花火をしました。

こんなに長い時間教会にいたのは初めてでしたが、とても短く感じました。とても有意義な一日になったのではないかな、と思います。

よろしければ、信徒会館2階の手すりを見上げてみて下さい。きれいな色になっています！



カトリック横浜教区平和旬間 2024 迫りくる気候危機 ～使徒的勧告『ラウダーテ・デウム』～を聴いて

K. E.

8月10日(土)カトリック雪ノ下教会にて、瀬本正之司祭(イエズス会)による気候危機についての講演を聴きました。鎌倉駅に降り立つと、地の底から湧き出すような暑さと観光客の間を縫うように徒歩たった5分ですが、やっとの思いで会場に着き・ああ、これも気候危機の影響かと思い講演を待ちました。

「見よ、それはきわめてよかった」・・これは、この講演で改めて思った聖句であり、日本カトリック司教団著作の書籍のタイトルにもなっています。キリスト者なら誰でも知っている創世記第1章31節です。「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。」そして、第2章「天地万物を完成された。」と続きます。しかし、極めて良かったはずの神の創造物=私たちの共通の家である地球は、同じく神の創造物=人間により現在、破壊されつつあります。

近年、夏になるとその異常な暑さを感じない人は、いないと思います。さまざまな気候変動の中でこの地球温暖化だけに目を向けてみても、その原因は人為的であることは、明らかです。温暖化を引き起こす温室効果ガス(二酸化炭素など)の大気中濃度は年々増加し、その排出量は富裕国が貧しい国々よりはるかに多くなっています。また、温度の上昇は地表面だけでなく、大気中でも海中でも生じ、氷河の後退や海面の上昇も引き起こしています。これは、あまりにも経済中心で、最小限のコストで最大限の利益を追求するがために、自然に対する際限なき人的介入が主因と思われます。

今回の講演により、自分が生きている間は大丈夫・・ではなくこの世を去った後の地球のことを考え、各自がキリスト者として、傷付きつつある地球と、それによって傷付くのは最も弱い立場の人たちであることを思うこと。「今、自分にできることは何であるか」考え、暮らして行くことの大切さを痛感しました。

「見よ、それはきわめてよかった」と、神様が語られたように、現在形でも「きわめてよい」と、語られますよう全ての被造物が互いに繋がり、調和のうちに生きて行かれますように。

聖体顕示

今年のカトリック平和旬間における片瀬教会の取り組みの一環として、8月9日(金)9時半のミサ後、聖体顕示が行われました。

お香が焚かれ、祭壇上に聖体顕示台が置かれ、聖歌「ひせきにこもりて」が歌われると、聖体として現存しておられるイエス・キリストと私たちが直に向き合うことのできる空間である聖堂がより荘厳・厳粛な雰囲気になりました。まず、神父さまから、「聖体顕示」の意味について、今月の主日のミサで読まれ続けている「ヨハネによる福音書第6章」を思い起こすようにとのお話がありました。

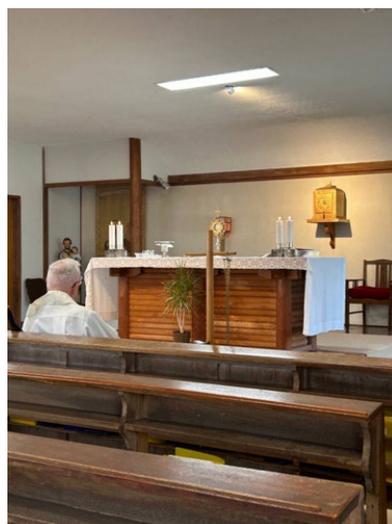
私たち受洗者は、ミサの度にいつも当然のことのように頂く「ご聖体」ですが、ヨハネの第6章には、「わたしは、天から降ってきた生きたパンである。」「わたしは命のパンである。」と書かれています。またそれは、「わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。」「永遠の命の言葉」へと繋がります。改めて「ご聖体」の意味を噛みしめ、心に満たされた「み言葉」に感謝し、イエス・キリストの生涯の神秘を観想する祈りに入りました。

至聖なる神秘である聖体顕示の間は、途切れることなく誰かが必ず聖体礼拝をしているよう時間割表が作られましたが、11時半までの間、途切れることなく常時20名以上の方々と共に祈ることができました。

11時2分には、藤沢市の防災無線の長崎原爆への黙禱のアナウンスも聞こえ、合わせて祈りました。香炉から立ち上る煙のように、私たちの「平和旬間の祈り」も天に届きますように。最後に再び「ひせきにこもりて」を歌いましたが、この歌詞に全ての思いが盛り込まれていると思います。

1. 秘跡にこもりて われらのうちに さかえのみ神は とどまりますよ
ぬかずきまつれば ああ心なごむ 奇しきやすけさ
2. とわになつかしき なぐさめぬしよ 淋しき日の友 心の糧よ
君ともにまさば 世におそれあらず 奇しきやすけさ

いつもそばにいてくださる神、心の糧をくださる神への感謝を日々忘れずに…、そして「ご聖体」と「み言葉」に養われ満たされた心を、周りの人々に分け与える使命を果たせますように。



2024年9月

☆教皇の意向：地球の叫び

私たち一人ひとりが、地球の叫びに、また、環境災害や気候変動の犠牲者の叫びに心の耳を傾け、私たちの住む世界を大切に生き方へと導かれますように。

☆日本の教会の意向：高齢者の喜び

すべての高齢者が生きる喜びを味わいながら、これまでの豊かな経験を分かち合うことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
9/1 日	年間第22主日 被造物を大切に する世界祈願日	8:00 10:00	
2 月			
3 火	聖グレゴリオ1世教皇 教会博士 記		マルコによる福音書 を読む会 10:00 サダナの祈り 9:00~
4 水			聖書と典礼を 読む会 10:00
5 木			まりあ食堂
6 金		9:30	ミサ後、ルカによる福音書 を読む会
7 土			洗礼を希望している方々 のための勉強会 10:00
8 日	年間第23主日	10:00(集会祭儀)	
9 月			
10 火	日本205福者殉教者 記		マルコによる福音書 を読む会 10:00 サダナの祈り 9:00~
11 水			聖書と典礼を 読む会 10:00
12 木			
13 金	聖ヨハネ・クリゾストモ司教 教会博士 記	9:30	ミサ後、ルカによる福音書 を読む会
14 土	十字架称賛 祝		洗礼を希望している方々 のための勉強会 10:00
15 日	年間第24主日 祖父母と高齢者のための 世界祈願日	8:00 10:00	ミサの中で、病者の塗油 教会委員会
16 月	聖コルネリオ教皇 聖チブリアノ 司教殉教者 記		第5地区司祭の集まり 17:00 片瀬
17 火			マルコによる福音書 を読む会 10:00
18 水			聖書と典礼を 読む会 10:00
19 木			
20 金	聖アンデレ金と同志殉教者 記	9:30	ミサ後、ルカによる福音書 を読む会
21 土	聖マタイ使徒福音記者 祝		洗礼を希望している方々 のための勉強会 10:00
22 日	年間第25主日	8:00 10:00	ミサの中で、病者の塗油 第5地区共同宣教司牧委員会 14:30
23 月	聖ピオ(ピエトレルチーナ)司祭 記		
24 火			マルコによる福音書 を読む会 10:00
25 水			聖書と典礼を 読む会 10:00
26 木			
27 金	聖ビンセンチオ・ア・パウロ司祭 記	9:30	ミサ後、ルカによる福音書 を読む会
28 土	聖トマス西と15殉教者 記		洗礼を希望している方々 のための勉強会 10:00
29 日	年間第26主日 世界難民移住移動者の日	8:00 10:00	
30 月	聖ピエロニモ司祭教会博士 記		

◆お知らせ◆

○敬老のお祝い

9月16日は敬老の日です。片瀬教会では78歳以上の方々にお祝いメッセージカードをお配りします。また、15日と22日のミサの中で、ご希望の方へ病者の塗油を行います。お祝いカードは各コミュニティでできるだけ教会へ来られていない方々へ直接お渡しコミュニケーションをはかってください。

○教会バザー

9月度教会委員会で、今年も教会バザーをコミュニティ主体のフリーマーケット形式で行うことにしました。

日時は、10月27日(日)11:00~14:00です。ミサ時間は変更せず、8時と10時に行います。コミュニティ以外にも有志グループの参加歓迎です。詳細は追ってお知らせします。

○既存の講座

- ・「聖書と典礼を読む会」9月4日(水)10時～
- ・「キリスト教入門講座」改め「ルカによる福音書を読む会」9月6日(金)
ミサ後10時頃～

それぞれ信徒会館2階にて再開致します。継続の方、新たに参加される方、どうぞお気軽にお越しください。

○新規開講の2つの講座

- ・「マルコの福音書を読む会」9月3日(火)10時～
- ・「洗礼を希望している方々のための勉強会」9月7日(土)10時～

いずれも毎週開催予定。会場は、信徒会館2階(火曜日の講座は、3日、10日のみ聖堂または司祭館で実施)。参加希望の方は、聖堂入口の表にお名前を記入してください。

2024年9月号

発行 カトリック片瀬教会
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>